



# 第七二期初任教育入校式

## 五四名が新たな一歩を踏み出す

### 秋田県消防学校

題 字  
初代会長 松野盛吉  
定 価 1部 48円  
(購読料は年会費に含む)

発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 中田 潤  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
<http://www.shoubou-akita.or.jp>  
E-mail: ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>



秋田県消防学校の初任教育第七二期入校式が四月一三日(金)、県内一二消防本部から五四名の入校生並びに来賓、家族など二〇〇名が出席し、同校屋内訓練場で行われました。

入校式では、国歌斉唱の後入校生の名前が一人ひとり発表され、小松弘樹校長が式辞を述べました。

続いて、堀井啓一秋田県副知事、佐藤好幸秋田県消防長会会長(秋田市消防長)、中田潤秋田県消防協会会長が、入校生を激励、入校生を代表して能代山本広域消防本部の若狭芳明消防士が宣誓を行いました。

入校生は、九月一九日(水)までの約半年間、寮で共同生活を送りながら、消防全般にわたる基礎的知識と技術の習得、厳正な規律、旺盛な気力と体力の錬成などの教育訓練を受け、警防隊員として活動できる能力を養成することになります。

平成三十年度全国統一防火標語  
忘れてない?  
サイフにスマホに  
火の確認

今年度も女性消防士二名が入校し、これで二一年連続の四〇名となりました。

### 校長式辞(要約)

消防士として、新たな一歩を踏み出しました皆さんのご入校を、教職員一同心から歓迎いたします。

さて、近年は火災や事故も複雑化・多様化しており、昨年夏には、本県にも大きな被害をもたらした豪雨災害が発生しました。その他、地震・火山噴火などの大規模災害についても決して油断できない状況であります。

しかし、どのような状況にあっても、社会生活の基盤は安全・安心であり、消防の任務は、まさにその安全・安心の確保にあります。

それだけに、消防に対する住民の期待は大きく、消防職員は、火災や救急に加え、様々な自然災害にも迅速・的確に対応することが求められております。

過酷な災害現場での活動では、健康であることに加え、逆境に耐える

精神力や忍耐力が必要です。さらに、専門的な知識や技術を習得しなければ、的確な救助はおろか自分自身を危険にさらす可能性もあります。本校での教育訓練では、危険回避や注意喚起のため、教官が厳しく指導することがあります。学生諸君、どうか怯むことなく強い信念を持って、必要な知識や技術の修得に全力で臨んでください。

### 入校生宣誓(全文)

私は、初任教育第七二期学生として、入校の意義と消防の責務を自覚し、校則を守り、和を尊び、規律ある学校生活を通じて、勉学研修に励み、消防職員として地域住民の信頼に値する人格陶冶に努めることを誓います。

平成三〇年四月一三日

能代山本広域市町村圏組合消防本部

消防士 若狭 芳明

小松校長



入校生宣誓

初任教育第72期 入校生名簿

【1組】

秋田市消防本部

佐々木 秀 仁 鎌 田 昂 平  
木 内 絵 美 高 橋 駿  
茂 木 勇 介 伊 藤 愛 莉

大館市消防本部

畠 山 慧 大

北秋田市消防本部

後 藤 涼 伊 藤 康 希

由利本荘市消防本部

佐 藤 迅

にかほ市消防本部

三 浦 佑 斗

横手市消防本部

熊 谷 一 真

能代山本広域市町村圏組合消防本部

若 狭 芳 明 児 玉 龍 一  
大 山 大之亮 日 沼 大 樹

湖東地区行政一部事務組合消防本部

武 田 寛 晃

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

菅 原 翼 佐 藤 秀 磨

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

齊 藤 佳 祐 山 崎 祐 太  
戸 澤 宥 飛 戸 嶋 大 夢  
倉 田 健 矢 柳 田 匠 弥

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

佐 藤 惣太郎 阿 部 達 也

【2組】

秋田市消防本部

鎌 田 雄 大 簾 内 翔  
滝 本 康 弘 石 山 明 敬  
加 藤 猛

大館市消防本部

佐々木 優 聖 榑 拓 朗

北秋田市消防本部

小 林 奎 斗

由利本荘市消防本部

熊 谷 雄 太

にかほ市消防本部

戸 蒔 拓 哉

横手市消防本部

菅 野 哲 也 小松田 翔 太

鹿角広域行政組合消防本部

佐々木 卓 人

能代山本広域市町村圏組合消防本部

藤 嶋 公 大 成 田 瑠 菜  
藤 田 健 志 菊 池 雄 大

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

村 山 宥 人 杉 本 翔 太

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

秋 山 隼 人 山 形 知 尋  
阿 部 隼 安 藤 啓 斗  
佐 藤 滯 利 武 田 海 斗

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

古 谷 優 樹 瀬 川 大 地

秋田県消防学校職員名簿

校 長 小 松 弘 樹  
副 校 長 木 山 強

総務班

主幹・班長 伊 藤 睦 男  
副主幹 原 田 聡 司  
主 査 佐 藤 弘 康  
主 任 本 間 律 子  
技能主任 堀 井 一 樹  
舎 監 猪 股 秀 二  
舎 監 米 谷 芸  
防災学習館説明員  
高 橋 博  
佐 藤 伸  
佐々木 美 香

教務班

主幹・班長 大 野 光 徳  
主 幹 大 高 英 人  
副主幹 古 谷 健 二  
副主幹 榑 田 和 則  
副主幹 畠 山 章  
副主幹 池 田 敏 英  
講 師 大 澤 善 樹  
講 師 樋 渡 統 一



中田消防協会長



佐藤消防長会長



堀井副知事



各消防長



木山副校長



入校生入場



教育訓練計画(総括表)

教育課程	教育実施期間		人 校 対 象 者	
	日数	時 期		
初 任 教 育	164	H30. 4. 9~H30. 9. 19	新たに採用された消防職員	
専 科 教 育	警 防 科	15	H30. 9. 26~H30. 10. 10	警防業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者
	特 殊 災 害 科	9	H30. 11. 8~H30. 11. 16	警防及び救助業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防士長以上の階級にある者
	予 防 査 察 科	12	H30. 11. 26~H30. 12. 7	予防業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者
	火 災 調 査 科	12	H30. 10. 15~H30. 10. 26	火災調査業務に従事している者又は従事しようとする者で、消防歴3年以上の者
	救 急 科	52	H31. 1. 8~H31. 2. 28	救急業務に従事しようとする者
	救 助 科	29	H30. 9. 27~H30. 10. 25	35歳以下の救助業務に耐えうる体力を有している者
幹 部 教 育	9	H30. 7. 23~ H30. 7. 31	55歳以下の消防司令以上の階級にある者	
特 別 教 育	消防操法指導員講習 (女性消防操法指導員講習)	2	H30. 5. 8~H30. 5. 9	消防士長以上の階級で、訓練礼式・消防操法を担当する者
		1	H30. 5. 10~H30. 5. 10	
	ビデオ喉頭鏡 追加講習	1	H30. 11. 9~H30. 11. 9	第38回救急救命士国家試験(平成26年度実施)以前に救急救命士資格を取得した者
救急救命処置再教育 (救急救命処置拡大追加講習)	3	H30. 11. 20~H30. 11. 22	救急救命士資格者で現在活動中である認定後5年目の者(薬剤投与認定救急救命士)	
基 礎 教 育	2	H31. 3. 9~H31. 3. 10	団員の階級にある者	
幹 部 教 育	指 揮 幹 部 科 現 場 指 揮 課 程	2	H31. 3. 16~H31. 3. 17	部長又は班長(部長と同等)の階級にある者
	指 揮 幹 部 科 分 団 指 揮 課 程	2	H31. 3. 2~H31. 3. 3	分団長、副分団長の階級にある者
特 別 教 育	女性消防団員教育	2	H30. 10. 27~H30. 10. 28	秋田県消防協会の推薦による女性団員
	日 消 指 導 員 教 育	2	H30. 11. 17~H30. 11. 18	団員の教育訓練を担当する者
	現 地 教 育		(内容・時間数について、 地域の実情を勘案して実施)	市町村長等の推薦による団員
	一 日 入 校 教 育		(内容・時間数について、 要望を勘案して実施)	市町村長等の推薦による団員
そ の 他	そ の 他 入 校 教 育		(内容・時間数について、 要望を勘案して実施)	各種団体等の要請による

秋田県消防学校  
平成30年度教育訓練計画

秋田県消防学校では、消防団員を対象とした教育訓練を行っています。そのうち基礎教育第64期、幹部教育指揮幹部科現場指揮課程第2期及び幹部教育指揮幹部科分団指揮課程第5期の実施要領を紹介いたしますので、参考にさせていただき、多くの団員が受講されることを期待しております。

なお、受講希望者は市町村消防団係にお問い合わせ下さい。

◎宿泊場所

秋田県消防学校「研心寮」

教育課程	基礎教育第64期	
目 的	入団して概ね3年未満の消防団員に対して、基礎的教育を行う。	
対 象 者	団員の階級にある者	
教育期間	平成31年3月9日(土)~3月10日(日)	
教 科 目 及 び 時 間 数	教 科 目 ( 教 育 内 容 )	時 間 数
	訓練礼式(各個訓練、小隊訓練、通常点検要領)	2
	組織制度(消防団の組織制度)	1
	ポンプ操法(消防ポンプ操法)	2
	火災防ぎよ・安全管理(火災防ぎよ・安全対策)	2
	防災(災害対策)	1
	救急救助(応急手当、基本結索)	2
	行事その他(入校式、修了式等)	2
	計	12

幹部教育指揮幹部科現場指揮課程第2期		教育課程	幹部教育指揮幹部科分団指揮課程第5期	
現場指揮者としての職責を自覚させ、的確な現場指揮、安全管理の知識等を持たせる。		目 的	分団の指揮者としての職責を自覚させ、消防団の管理運営等、広い知識を持たせる。	
部長又は班長(部長と同等)の階級にある者		対 象 者	分団長、副分団長の階級にある者	
平成31年3月16日(土)~3月17日(日)		教育期間	平成31年3月2日(土)~3月3日(日)	
教 科 目 ( 教 育 内 容 )	時 間 数	教 科 目 及 び 時 間 数	教 科 目 ( 教 育 内 容 )	時 間 数
講話(職責と心構え)	1		講話(職責と心構え)	1
現場指揮、安全管理(現場指揮要領、事故予防対策)	1		防災(災害基本法と消防団の役割、地域防災計画に占める消防団の役割、長期化活動対策等)	4
火災防ぎよ訓練(指揮要領、延焼拡大防止措置)	2		安全管理、組織制度(公務災害補償制度の概要、消防団組織の現況、消防団の充実強化等)	1
救助・救命訓練(倒壊家屋等からの救助救命と指揮要領)	4		災害対応図上訓練(分団本部活動・管理運営要領、災害情報収集、他機関との連携等)	4
避難誘導訓練(災害時の避難誘導・避難広報)	2		事例研究(消防団の充実強化及び活性化事例、安全管理事例)	1
災害情報収集・伝達訓練	1		行事その他(入校式、修了式等)	1
地域防災指導訓練(初期消火、応急手当及び簡易な救助の指導方法)	1		計	12
行事その他(入校式、修了式等)	2			
計	14			

平成三〇年春の叙勲・褒章  
第三〇回危険業務従事者叙勲

平成三〇年春の叙勲・褒章及び第三〇回危険業務従事者叙勲の受章者が発表され、本県の消防関係では叙勲二三名、褒章二名、危険業務従事者叙勲九名の方が受章されました。誠におめでとうございます。  
(記載は五十音順)

平成三〇年春の叙勲

◆瑞宝双光章(五名)

元北秋田市消防団 長 金田 咲美

元湯沢市消防団 長 近野 宗一

元横手市大雄消防団 長 佐々木 一義

元横手市雄物川消防団 長 佐藤 庫之助

元潟上市消防団 長 古戸 俊行

◆瑞宝单光章(一八名)

元秋田市消防団 副団長 池田 吉正

元由利本荘市消防団 副団長 岡田 香

元横手市平鹿消防団 長 奥久 久雄

元男鹿市消防団 分団長 加藤 仁

元北秋田市消防団 副団長 北林 昭男

元大潟村消防団 長 工藤 善勝

元潟上市消防団 副団長 佐々木 一信

元仙北市角館消防団 分団長 佐々木 孝

元秋田市消防団 分団長 佐藤 一夫

元八竜町消防団 分団長 清水 孫太郎

元大館市消防団 副団長 菅原 久隆

元由利本荘市消防団 副団長 高野 陽一

元大潟村消防団 副団長 富田 博文

元秋田市消防団 副団長 中島 辰悦

元大館市消防団 副団長 成田 健直

元琴丘町消防団 分団長 野呂田 三郎

元男鹿市消防団 分団長 畠山 隆一

元湯沢市消防団 分団長 藤原 信敏

◆瑞宝双光章(六名)

元大館市消防本部 消防監 石井 直文

元由利本荘市消防本部 消防司令長 佐々木 俊一

元横手市消防本部 消防司令長 佐藤 定治

元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 消防監 佐藤 博志

元能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 柴田 收

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 手塚 謙悦

◆瑞宝单光章(三名)

元にかほ市消防本部 消防司令 齋藤 順一

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 挽野 定崇

元男鹿地区消防一部事務組合消防本部 消防司令 渡邊 誠一

平成三〇年春の褒章

◆藍綬褒章(二名)

現八郎潟町消防団 副団長 齊藤 一

現大潟村消防団 副団長 三浦 修

新消防長紹介

【平成三〇年四月一日就任】



大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防長 鈴木 良則

【平成三〇年三月二十六日就任】

新消防団長紹介



五城目町消防団 消防団長 藤井 好春



三種町消防団 消防団長 青山 竹千代



藤里町消防団 消防団長 伊藤 孝年



男鹿市消防団 消防団長 吉田 陽一



秋田市消防団 消防団長 大島 昌良

**第七一回秋田県消防大会**  
 (横手市支部) 開催のお知らせ

消防団員意見発表のほか、アトラクションもあります。  
 地域の方々も是非お出掛け下さい。

**開催月日**  
 平成三〇年六月三〇日(土)  
 午後一時から

**開催場所**  
 横手市赤坂字富ヶ沢六二四六  
 秋田ふるさと村「ドーム劇場」



東成瀬村消防団  
 鈴木 木修



羽後町消防団  
 柿崎 眞悦



横手市十文字消防団  
 柴田 和久



仙北市消防団  
 藤島 絹雄

## 消防団員を募集しています

自分のまちを災害から守り、まちの安全と安心をつくる消防団員を募集しています。  
 消防団員を募集している消防団は次のとおりですが、その数や応募条件は平成30年4月時点のものです。  
 詳細については、市町村の消防担当課または消防本部にお問い合わせ下さい。  
 多くの方の応募をお待ちしております。

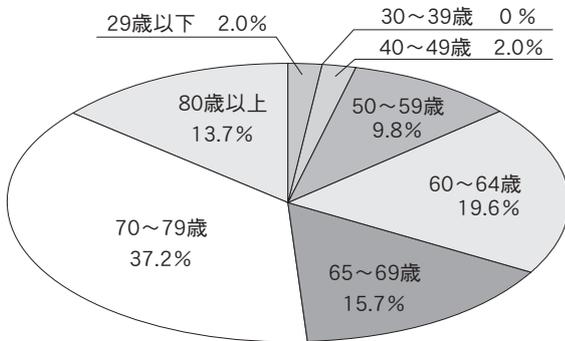
消防団名	募集团員数(人)			応募の条件		問い合わせ先	
	総数	男性	女性	現住所・勤務地	年齢	課所名	電話番号
鹿角市	70	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	0186-23-5601
小坂町	32	性別は不問		当町に居住又は勤務	18歳以上	町民課	0186-29-3928
大館市	103	99	4	当市に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	0186-43-4152
北秋田市	92	性別は不問		当市に居住する者	18歳以上	消防本部	0186-62-1119
上小阿仁村	17	17	0	当村に居住又は勤務	18歳以上	住民福祉課	0186-77-2222
能代市	100	性別は不問		当市に在住又は勤務	18~64歳	能代消防署	0185-52-3311
藤里町	13	13	0	当町に居住する者	18~59歳	生活環境課	0185-79-2115
三種町	63	性別は不問		当町に居住又は勤務	18歳以上	町民生活課	0185-85-4823
八峰町	49	性別は不問		当町に居住する者	18歳以上	総務課	0185-76-4601
男鹿市	101	性別は不問		当市に居住する者	18歳以上	総務課危機管理室	0185-24-9113
潟上市	61	性別は不問		当市に居住又は勤務	18~49歳	総務課	018-853-5301
五城目町	71	性別は不問		当町に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	018-852-2028
八郎潟町	11	性別は不問		当町に居住又は勤務	18~65歳	町民課	018-875-5806
井川町	30	性別は不問		当町に居住又は勤務	18歳以上	町民課	018-874-4416
大潟村	6	性別は不問		当村に居住又は勤務	18歳以上	住民生活課	0185-45-2114
秋田市	239	性別は不問		当市に居住する者	18~50歳	消防本部	018-823-4000
由利本荘市	162	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	0184-22-4282
にかほ市	25	17	8	当市に居住又は勤務	18歳以上	消防本部	0184-38-2311
大仙市	159	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	総合防災課	0187-63-1111
仙北市	50	性別は不問		当市に居住する者	18~65歳	総合防災課	0187-43-1115
美郷町	59	性別は不問		当町に居住する者	18~55歳	住民生活課	0187-84-4903
横手市横手	61	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	横手地域課	0182-32-2701
横手市増田	30	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	増田地域課	0182-45-5510
横手市平鹿	76	61	15	当市に居住又は勤務	18歳以上	平鹿地域課	0182-24-1111
横手市雄物川	79	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	雄物川地域課	0182-22-2111
横手市大森	40	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	大森地域課	0182-26-2111
横手市十文字	59	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	十文字地域課	0182-42-5111
横手市山内	30	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	山内地域課	0182-53-2111
横手市大雄	37	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	大雄地域課	0182-52-2111
湯沢市	30	性別は不問		当市に居住又は勤務	18歳以上	総務課	0183-55-8250
羽後町	70	70	0	当町に居住又は勤務	18~64歳	生活環境課	0183-62-2111
東成瀬村	31	性別は不問		当村に居住又は勤務	18歳以上	民生課	0182-47-3403

### 山岳遭難事故の発生状況

		H26	H27	H28	H29
合 計	件 数	67	67	68	46
	遭難者数	87	80	92	51
	うち死亡	14	9	13	7
登 山	件 数	18	19	15	10
	遭難者数	33	22	34	11
	うち死亡	3	—	1	2
山菜取り	件 数	32	31	42	32
	遭難者数	36	35	47	35
	うち死亡	5	2	9	3
きのこ取	件 数	11	14	8	1
	遭難者数	12	19	8	1
	うち死亡	5	4	2	—
そ の 他	件 数	6	3	3	3
	遭難者数	6	4	3	4
	うち死亡	1	3	1	2

\* 「その他」は森林伐採、溪流釣り等の事故

### 平成29年山岳遭難 年代別発生状況



消防 半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

## 寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター  
消防被服全般  
秋 田 県 代 理 店

## 株式会社 高 義 商 会

(営業種目) { トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
火災報知器各種  
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183)(42)2125  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

## 秋田県山岳遭難 防止対策協議会

山菜採りが遭難の70%を占める

平成三〇年度秋田県山岳遭難防止対策協議会(会長・堀井啓一秋田県副知事)総会が四月二四日(火)、秋田県庁第二庁舎で開催され、平成二九年の山岳遭難事故発生状況報告などが行われました。

山岳遭難事故報告によると、発生件数は四六件、うち山菜採りが三二件で七〇%を占め、遭難者数は五一人、うち六五歳以上の高齢者は三四人で六七%となっております。

### 入山者の皆さんへ

#### 山菜採りに行くときの注意・装備品の注意

- ①一人で山には入らないで、家族(又は知人)に行き先を告げる
- ②自分の体力、体調にあった行動をとる
- ③知らない山には入らない
- ④天気予報・気象情報を確認してから出かける
- ⑤予備の食糧、雨具、着替え、ライター、熊鈴、ラジオ、笛などを持つ
- ⑥携帯電話(電波の届く場所を確認する)
- ⑦服装、所持品は目立つ色にしましょう
  - ・自然界に無い色の物を着用・持参しましょう
  - ・搜索する側から目立つ色は白色
  - ・白いタオルを持参して入山して下さい

#### 入山の注意・登山の注意

- ①声を掛け合い、お互いの居場所を確認して同行者と離れない
- ②方向を見失わないようにする
- ③無理をせず早めに切り上げ、明るいうちに下山する

#### もし、迷ってしまったら

- ①むやみに歩き回らない  
(沢や崖などに転落してしまう場合があります)
- ②雨風を防げる場所で救助を待つ
- ③明るくなったら見通しの良い場所に出て、救助を待つ
- ④搜索のヘリコプターを見つけたら、見通しの良い場所に移動して、目立つ色の着衣、雨具、タオル等を振って自分の居場所を知らせる

## 株式会社 夕 力 ギ

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182)(32)3880  
FAX (0182)(32)0839

### (営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンバイホース  
トーハツポンプ | シバウラポンプ  
各種消防機械器具 | 各種消火器  
消防設備保守点検

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)

支部情報アラカルト

『消防団長辞令交付式が行われました』

四月二日(月)、横手市役所条里南庁舎において、高橋大横手市長から三月三十一日をもって退任された元横手市十文字消防団長 細川祐一氏に退任辞令と、新任の柴田和久氏並びに任期を更新された四名の団長に任命辞令がそれぞれ交付されました。



退任辞令の交付

交付式では高橋市長より、日頃から住民の安全安心を確保するため献身的に活動されていることに対する感謝の意と、火災予防並びに、地域における消防防災の中核として、一



任命辞令の交付

層の研鑽を積まれるよう激励のあいさつがありました。

消防団員数が減少傾向にある中、東日本大震災等の大規模災害や同時多発災害に対応するため、消防団員ひとりひとりの役割が重要視されており、消防団員を統括する団長の役割は極めて重要です。

これからも住民の安全安心のため、地域防災の要として頑張ってくださいと思います。

〔情報提供〓横手市支部〕

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成30年		平成29年			同期比較	
	4月	累計	4月	累計	年計	4月	累計
建 物	11	61	24	68	166	-13	- 7
林 野	10	14	8	8	19	2	6
車 輛	6	13	2	10	30	4	3
その他	10	23	13	20	51	- 3	3
合 計	37	111	47	106	266	-10	5
死者数	2	8	3	8	24	- 1	0
負傷者数	3	13	12	27	77	- 9	-14



★第一期消防団員幹部教育  
指揮幹部科現場指揮課程  
(平成三〇年四月一五日発行に誤りが  
ありましたので、再掲します。)

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ  
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター  
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57  
TEL (0185) (52) 6494  
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防 設 備  
ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース  
火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)  
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651